

## 1-1 熊本県立大学入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

### 1 熊本県立大学が求める学生

熊本県立大学は、「地域に生き、世界に伸びる」をスローガンに、豊かな教養を備え、21世紀の地域社会ひいては国際社会の発展に貢献できる、有為で創造性豊かな人材の育成に全力を注いでいます。

熊本県立大学は、文、環境共生、総合管理の3学部3研究科からなり、人文科学系、自然科学系、社会科学系の3つが有機的に結合した先進的な「集約型大学」です。また、「地域実学主義」を教育理念とし、「理論を現場に学ぶ」体験的、実践的学修方法であるフィールドワークや、地域課題解決と教育を結びつけた「もやいすと」育成プログラムなど、現場に学び実践力を育むための教育を展開する特色ある大学です。

この大学に学び、地域に根ざし世界に向かって羽ばたこうとする知的探究心旺盛な学生を求めています。

### 2 入学者選抜の実施方法

熊本県立大学は、1に掲げる本学が求める学生を適正に選抜するため、学部・学科の特性に応じて、各種の選抜方法を実施します。

## 環境共生学部

### 1 環境共生学部が求める学生

本学部は、私たちが自然が共生していく際の諸問題を総合的に捉え、その方策を追求し、地域の発展と人間福祉の向上を目指すことを理念として設置され、環境資源学科、居住環境学科、食健康科学科の3学科で教育研究を行っています。本学部は以下のような能力を持つ学生を求めます。

- (1) 環境共生学にかかわる様々な課題に関心を持つ学生
- (2) 科学的、論理的思考能力を有している学生
- (3) 高等学校における教科に関してバランスのとれた基礎学力を有している学生
- (4) 理科の科目について十分な学力を有している学生
- (5) 英語について幅広い素養を備えている学生

さらに、入学後は、国際的な視野と自然科学・健康科学に係る高度な知識をもとに、人間活動と自然環境との共生にかかわる地域あるいは地球規模の諸問題を総合的に対処できる能力を自ら積極的に学修することによって身につけようと考えている学生を求めます。

### 2 入学者選抜の実施方法

一般入試を中心に、特別選抜をあわせて実施し、多様な方法で多面的な選抜を行います。一般入試ではセンター試験と個別学力試験により、高等学校における基礎学力、理科、英語の能力を評価します。特別選抜では環境共生にかかわる課題に対する関心と理解を小論文及び面接により評価します。

## 環境資源学科

（省略）

## 居住環境学科

### 1 居住環境学科が求める学生

本学科は、「環境共生」の理念を前提とした環境への負荷軽減、人間の健康・福祉などの視点を重視する居住環境とそのシステムのあり方について、実践的に取り組む教育・研究を行っています。

そのために、住居から建築・都市・地域に至る住環境の全体を見据え、実体験に基づいた科学的認識能力を養成します。また、居住環境の創造に役立つようなデザイン、計画、調整、構築に関する能力に加えて、関連する社会科学的知識を養成します。

そこで、居住環境学科は以下のような人材を求めています。

- (1) 自然を利用し、人と地球にやさしい環境をつくる技術を開発したい人
- (2) にぎわいに満ちた元気な“まち”、自然豊かで美しい“むら”をつくりたい人
- (3) 快適な住まいや公共の建築物などの設計をめざしたい人
- (4) 地震に強く美しい木造建築物・環境に配慮した建築物をつくりたい人
- (5) 建築士として働きたい人

### 2 入学者選抜の実施方法

本学科への入学を希望する人は、高等学校における教科を全般的に履修した上で、学修の基礎科目となる数学と理科（できれば物理を含む二科目）については、高等学校教育の内容を十分に理解しておくことが重要です。また、居住環境に対する興味を深め、社会性を養うために、読書や新聞を読む習慣を身につけておくことを望みます。

また、一般入試のほかに実施する自己推薦型入試や特別選抜入試（推薦入試）では、筆記試験では測れない他者とのコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力など、将来建築関連の職業に就く場合に必要な能力と将来性豊かな可能性を持つ人材を求めています。

## 食健康科学科

（省略）